

一般社団法人ラベル循環協会について

～ラベル業界の循環化社会を造るために～

24年11月5日
一般社団法人 ラベル循環協会





J-ECOLとは

今やシール・ラベル(以下ラベル)は私たちの生活に当たり前に存在するモノですが、この活躍の裏で一つ課題を抱えています。

それはラベルの粘着面を保護するための台紙(以下剥離紙)がラベルが使用された後に不要物として扱われていることです。

これを、ラベルを使用する企業、製造する企業、そして剥離紙を再利用する企業、その他関連する企業が限られた資源を有効活用をするという同じ意志が課題解決には必要です。

ラベル循環協会(J-ECOL)はラベルにおける循環型社会の実現を目的に設立致しました。

皆様と一緒に循環型社会理念を推進し、環境負荷軽減に寄与して参ります。



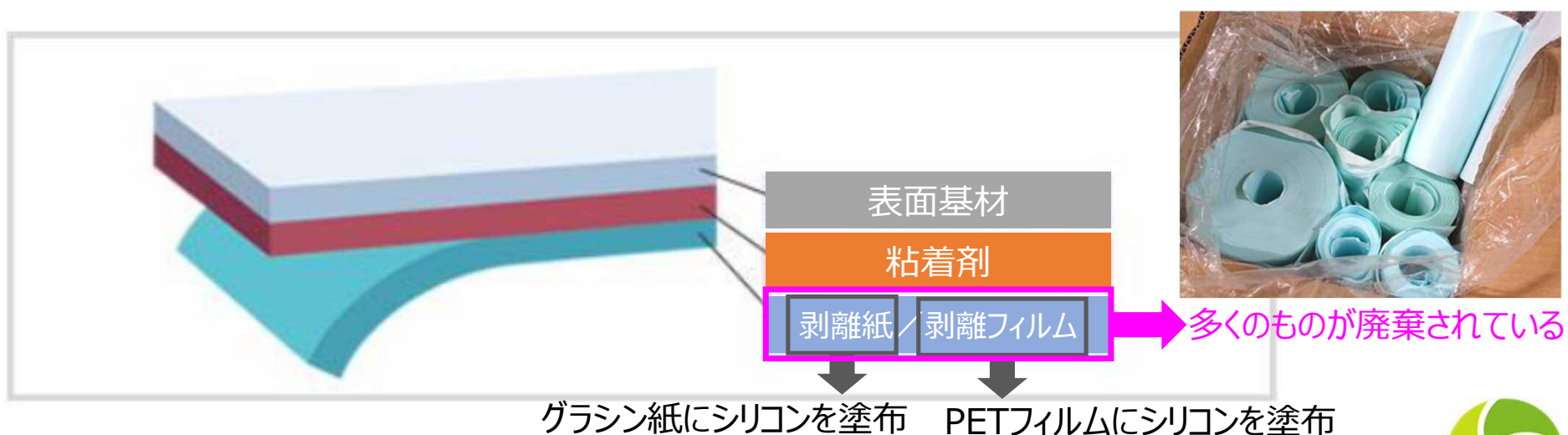
粘着ラベルとは？

概要

表面基材に予め粘着剤が塗布され、剥離紙（セパレーター）から剥がして使用します

構成

- 表面基材、粘着剤、剥離紙の3層構造
- 表面基材、粘着剤、剥離紙はそれぞれ様々なタイプがあり、用途に応じていろいろな組み合わせパターンがあります



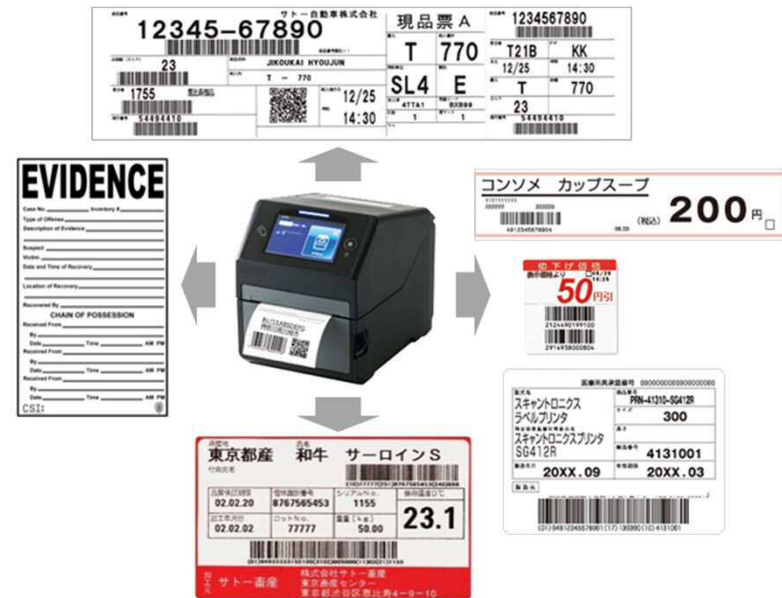
粘着ラベルの種類

固定情報ラベル



商品に装飾を施し、意匠性を高める。
商品情報を表示する。

可変情報ラベル



プリンタを用いて無地のラベルへ情報を印字する。

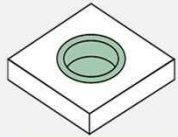
粘着ラベルのフィールド（固定情報ラベル）



製造



精密機器の製造工程に必要な材料として



マスキングラベル、銘板ラベル



物流



輸送物の中身に対する警告を第三者に知らせるために



警告ラベル



食品



商品の顔として、第三者に訴求するために



パッケージラベル



ヘルスケア



医薬品の商品名、成分を表示するため



表示シール



アミューズメント



お菓子のおまけに付けられる食玩として



キャラクターシール



スーパーマーケット



消費者への購買意欲の向上のために



キャンペーンラベル



アパレル・宝飾



製品が本物である証のために



セキュリティーシール



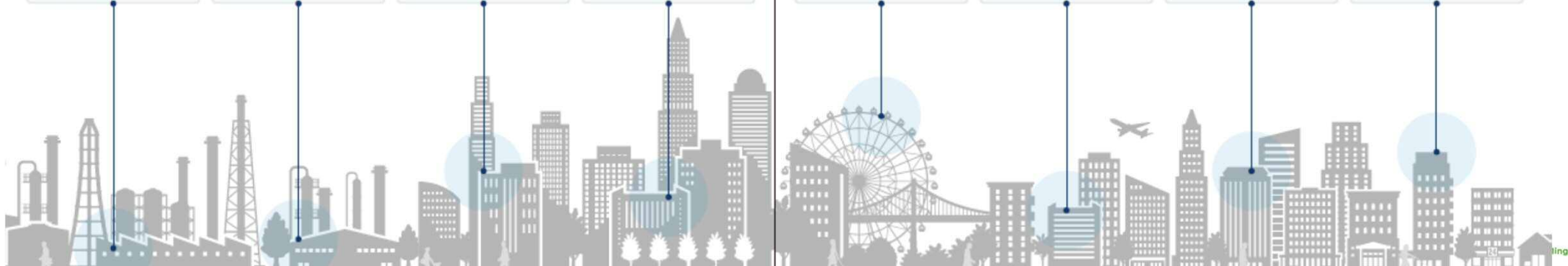
公共



支払い済みの証明書として



ゴミ処理券



粘着ラベルのフィールド (可変情報ラベル)



製造



- 損出を防ぎトレーサビリティに必要な情報を収集
- 各種耐性、高い印字精度が要求されるパーツ用ラベルへのマーキング



部品票



微小ラベル



物流



- 自動化により人手を減らし業務を最適化



送り状・納品書一体化ラベル



食品



- 異物混入や誤投入による事故防止
- 確実なトレーサビリティの構築



食材管理ラベル



ヘルスケア



- インシデント防止のための管理
- 医薬品・医療器材の管理



リストバンド



お客様ラベル



アミューズメント



- 高精細な印刷と偽造の防止



イベント用チケット



リストバンド型チケット



スーパーマーケット



- 表示ラベルを台紙がないノンセパラブルに集約
- 値引き忘れやレジ業務の効率化で混雑を解消



集約表示ラベル



マークダウンラベル



アパレル・宝飾



- RFIDタグ・ラベルで店舗・物流センターでの入出荷/棚卸しを効率化



RFIDラベル



RFIDタグ



公共



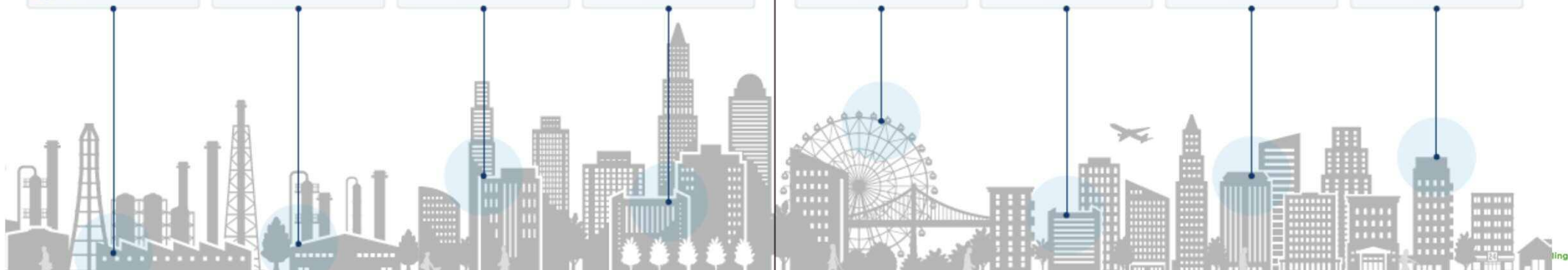
- 屋外向け耐候性ラベルで設備管理、保安点検
- メーカー製造、保管、設置、開栓、検理、検計などを正確に管理



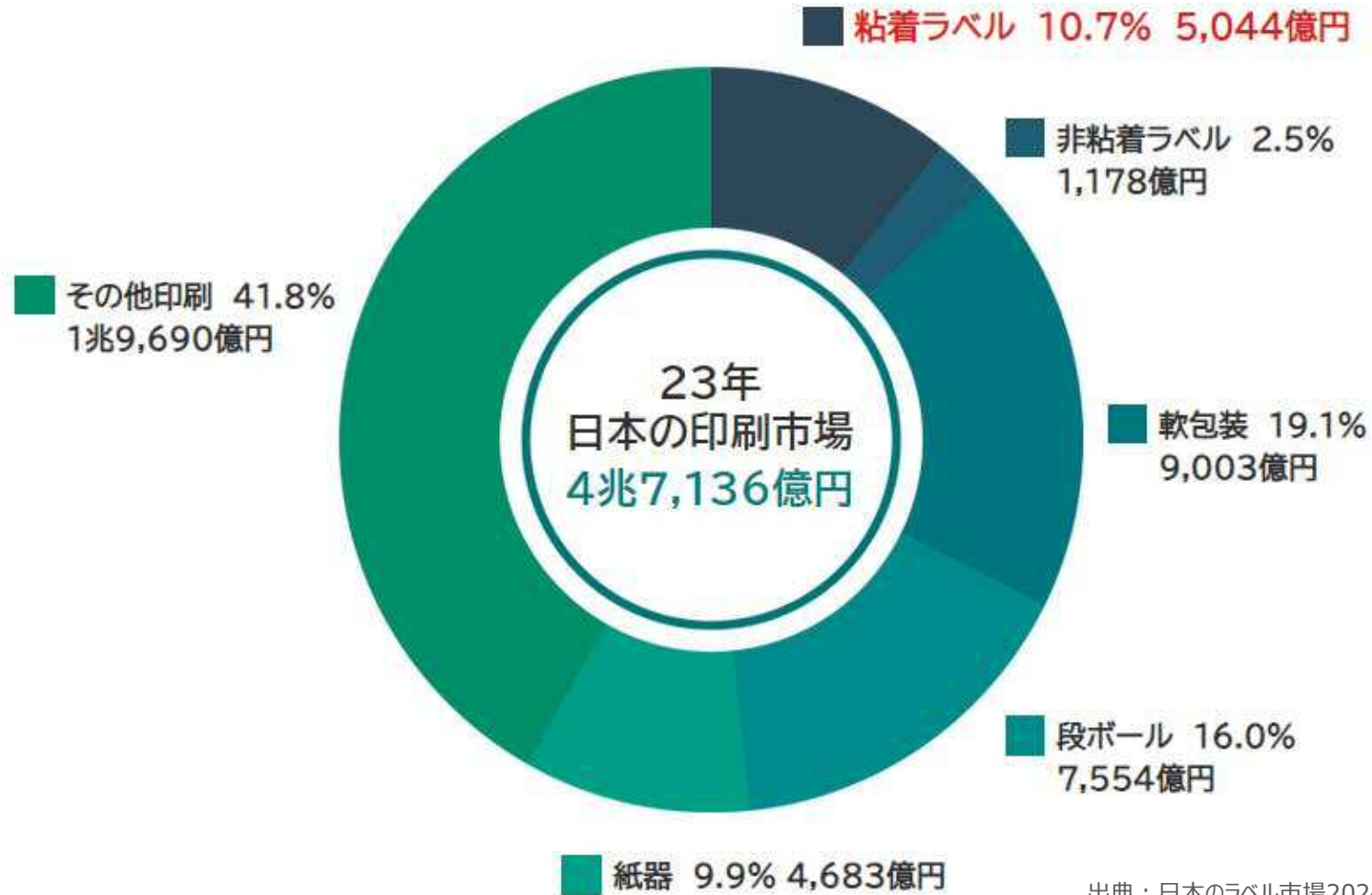
銘板ラベル



代金代行取納用紙



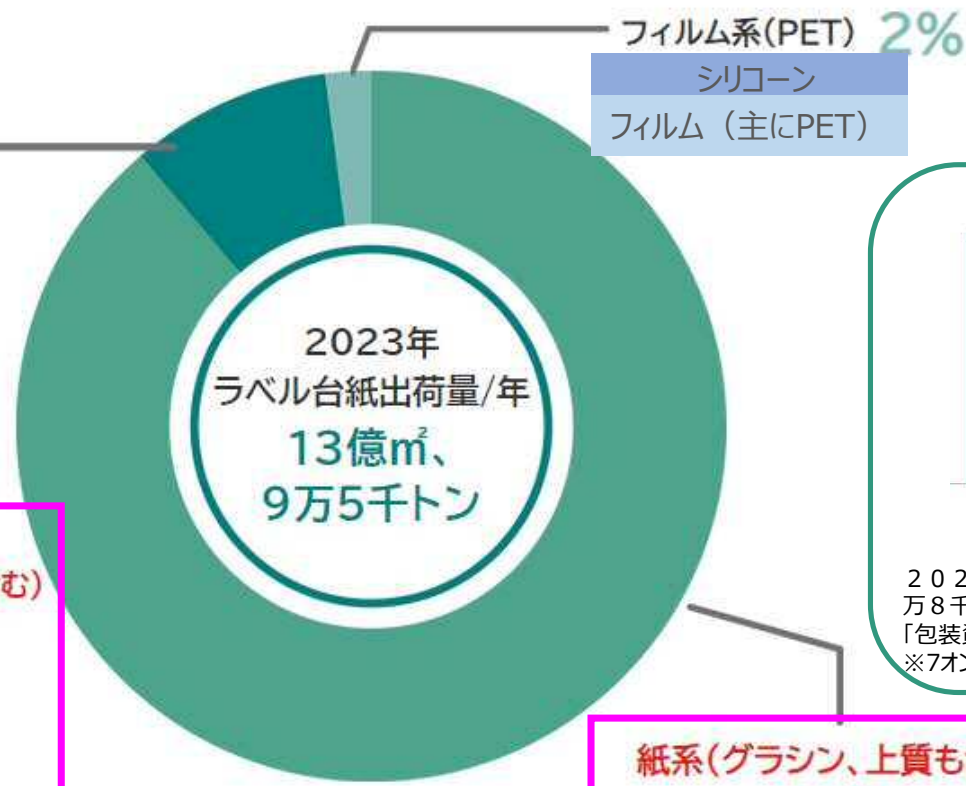
日本の印刷物市場規模（2023年）



出典：日本のラベル市場2024

台紙の種類と出荷量

基材	目止め	出荷量 (万㎡)	構成比
グラシン紙	ダイレクトシリコン	96,146	70.4%
	ポリラミ	5,884	4.3%
上質・クラフト紙	クレーコート	18,821	13.8%
	ポリラミ	6,226	4.6%
フィルム	ダイレクトシリコン	3,205	2.3%
ライナーレス		6,218	4.6%
合計		136,500	100.0%



**フィルム+紙の複層系
(PE+グラシン、PE+上質も含む)**

9%

- <ポリラミ>
- シリコン
- フィルム (主にPE)
- 基材

フィルム系(PET) 2%

- シリコン
- フィルム (主にPET)

【参考：紙コップとの比較】

年間出荷量 9.5万t
年間排出量 14.8万t

ラベル台紙 紙コップ

2023年度排出量 8.2億個×1.8g = 約14万8千t ※出典：(株)日本経済総合研究センター「包装資材シェア事典2023年版」
※7オンスカップの重量 (ラベル循環協会調べ)

紙系(グラシン、上質も含む) 89%

- <ダイレクトシリコン>
- シリコン
- 基材

ラベル新聞社調べ

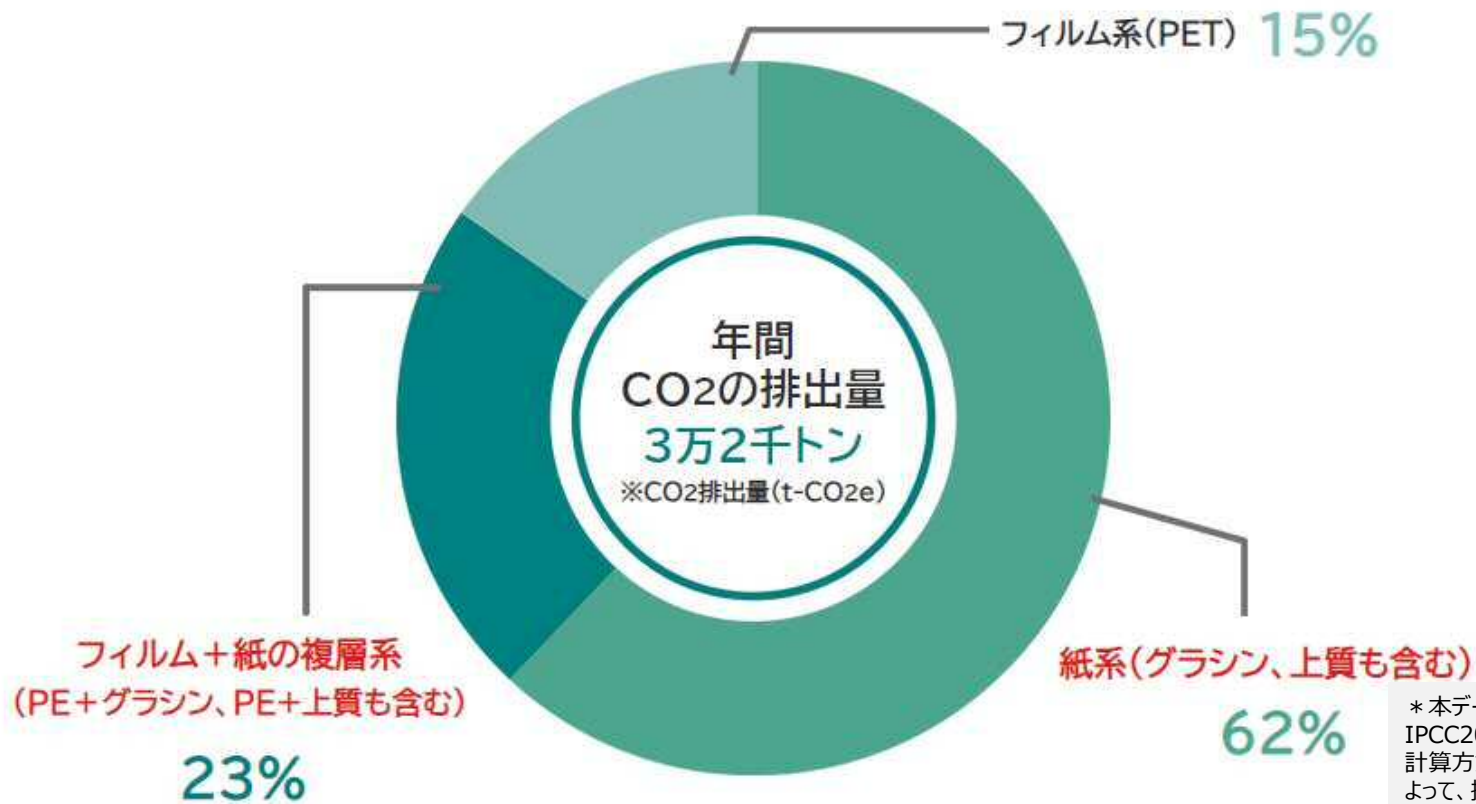
量が多い紙系台紙を対象とする。以降『剥離紙』と称します。

ラベル台紙のCO₂排出量

現在も、各企業の努力により、台紙の環境負荷削減に向けたリサイクルや削減の取り組みが行われています。ただし、社会全体の仕組みが整っておらず、リサイクル率や削減率は高くはありません。

仮に全ての台紙を燃焼した場合のCO₂排出量は、下記のグラフの通りです。実際にも、この数値に近いものが想定される中で、J-ECOLはCO₂削減のためにリサイクルの取り組みを進めています。

※CO₂排出量は、輸送+材料の燃焼処理にて算出



* 本データは産総研IDEA Ver.3.3の気候変動IPCC2021 GWP100aを使用しています。計算方式の見直しや採用しているデータの更新などによって、排出量の計算値が更新される場合があります。算出結果は、2024年9月時点での当団体ルール、モデルケースに基づくものとなります。

製紙原料に適さない紙類！ 古紙を出す際には注意してください

A 類：古紙に混入することで重大な障害を生ずるもの

カバンや靴などの箱物



(カバンの緩衝材)

昇車転写紙



(アイロンプリント紙)

感熱性発熱紙
(立体コピー紙)



(点字印刷物)

臭いのついた紙



(石鹸や柔軟剤の包装箱)

食品残渣のついた紙



(ピザ、ケーキなどの食品を直接包装した容器)

ろう(黒)液 (ワックス付のボール)



(輸入青果物・水産加工品を入れる段ボール箱)

不織布



(マスク、簡易おし拭、包装紙など)

使い捨ておむつなど



(紙おむつ、生理用品、ベッド用トイレシート)

合成紙
ストーンペーパー



(地図、選挙ポスター)

石、ガラス、土砂、
金属(工具、機械部品を含む)
木片、布類、プラスチック類



(その他)

B 類：古紙に混入することは好ましくないもの

折りしされた紙



(金銀の折り紙など)

塗材に使用される紙



(壁紙、防水シートなど)

圧着はがき



(公共料金の請求書)

シール、粘着テープ



(雑誌付録など)

複食材



(通販用破衝封筒など)

カーボン紙
ノーカーボン紙



(宅配便の伝票など)

感熱紙



(レシートなど)

印刷紙



(写真)

新聞折込チラシ、雑誌、
カタログに付属したサンプル類



(サンプルが付いたままの新聞折込チラシ、雑誌)

ラミネート紙、樹脂・アル
ミコーティング紙



(酒パックなど)

複層紙
(パーチメント紙)



(クッキー紙)

着色した
原物用のクッション材



防水加工された紙



(紙コップ、紙皿、紙製のカップ類容器など)

B 類の「古紙に混入することは好ましくないもの」の中には、製紙原料などとして利用できるようになってきているものがありますので、地域の古紙回収業者又は古紙回収業者に確認ください。

(問合せ先)
公益財団法人 古紙再生促進センター
〒104-0042
東京都中央区入船3丁目10番9号
TEL:03-3537-6822(代)



古紙は分別ルールを守って出してください

● 自治体の古紙分別ルールに従ってください。

家庭から出る古紙は、一般的に新聞・雑誌・段ボール・飲料用紙パック・雑がみに分けて出します。

地域によって分け方が異なりますので、必ずお住まいの自治体の分別ルールを確認してください。



○ 新聞

新聞には新聞折込チラシを入れたままでよい場合が一般的です。

最近では、サンプルが付いた新聞折込チラシが入ることがあります。サンプルは必ず取り外すようにしてください。また、汚れた新聞は入れないでください。

○ 雑誌

雑誌は「綴じられたもの」で、雑誌、書籍及び返本・残本(印刷冊子を含む)、取扱説明書、小冊子(パンフレット、カタログ、案内書など本の形をしたもの)になります。分別時に雑誌付録は取り外すようにしてください。

禁忌品名称	リサイクルできない理由	注意点、使用例など
食品残渣のついた紙	・食品で汚れており、腐敗・異臭などの衛生上の問題があります。	・ピザやケーキの包装箱に食品が付いたもの、ハンバーガーなどを包んだ紙などがあげられます。
汚れた紙	・衛生上の問題があります。	・油のついた紙、使い終わったティッシュペーパーやペーパータオル、ペットの汚物処理した紙などがあげられます。
ろう(蠟)段(ワックス付段ボール)	・ろう(蠟)、ワックスが塗られた段ボールで、古紙処理工程で取り除けず、新しい段ボールに油染みが出てしまいます。	・輸入青果物や水産加工品を入れる段ボール箱に使われています。
新聞折込チラシ、雑誌、カタログに付随したサンプル類	・製紙原料とならない異物です。	・シャンプーや化粧品サンプルがあげられます。 ・サンプル類は取り外してください。
箔押しされた紙	・古紙処理工程で取り除けず、製品が金属反応を示してしまいます。	・金銀の折り紙などがあげられます。
建材に使用される紙	・製紙原料とならない異物が含まれています。	・壁紙、防水シート、石膏ボードなどがあげられます。
圧着はがき(郵便はがき)	・のりが完全に取れず、まとまった粘着物が機械や製品に付着します。	・公共料金の請求書、ダイレクトメールに使われています。
シール 粘着テープ	・のりが完全に取れず、まとまった粘着物が機械や製品に付着します。	・リサイクルできる台紙はありますが、シールは剥がしてください。
...

<h3 style="margin: 0;">シール 粘着テープ</h3>	<ul style="list-style-type: none"> ・のりが完全に取れず、まとまった粘着物が機械や製品に付着します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルできる台紙はありますが、シールは剥がしてください。
---	--	---

お酒のバックのように内側にアルミが使われているものは出せません。

○ 雑がみ

雑がみは新聞・雑誌・段ボール・紙パック以外の投込チラシ、コピー紙、包装紙、紙袋、紙箱(お菓子やおもちゃの箱)などの紙類になります。

分別時に、カバンや鞆などの詰物(緩衝材)、昇華転写紙(アイロンプリント紙)、感熱性発泡紙(立体コピー紙)、食品や臭いが付着しているもの、金紙・銀紙が使用されているもの、レシート、シール、プラスチックとの複合素材の製品は、雑がみに混ぜないで可燃物に出してください。

古紙に出さないでください

禁忌品名称	リサイクルできない理由	注意点、使用例など
カバンや鞆などの詰物(使用済み昇華転写紙)	・古紙処理工程で取り除けず、製品にカビ状の斑点になって現れます。	・詰物(緩衝材)が使用済み昇華転写紙かどうか見た目では判断が難しいため、すべて可燃物に出してください。
昇華転写紙(アイロンプリント紙)(捺染紙)	・古紙処理工程で取り除けず、製品にカビ状の斑点になって現れます。	・最終用の型紙などに使われています。 ・見分け方は字や絵柄が逆になっています。
感熱性発泡紙(立体コピー紙)	・古紙処理工程で取り除けず、製品の表面に凹凸が発生します。	・主に点字印刷物(図や絵)に使われ、点字冊子に挟み込まれていることがあります。 ・感熱性発泡紙かどうか判断できない時には、可燃物に出してください。
臭いのついた紙	・古紙処理工程で完全に脱臭することができず、製品に臭いが残ってしまいます。	・洗剤の箱、薬箱の箱、香料の箱、芳香紙、石鹸包装紙などがあげられます。

硫酸紙(パーチメント紙)	・古紙処理工程で難解できず、製紙原料となりません。	・専用紙などがあげられます。
抄色紙 [※] (判定基準A,Bを除く)	・色が抄き込まれており、水に色が付いたり、製品に色が付きやす。	・色紙、色画用紙などがあげられます。 ※ 抄色紙の製造メーカーは、抄色紙のリサイクル適性の判定基準によりランク付を行っていますので製造メーカーのホームページを参照してください。
果物類のクッション材	・色が抄き込まれており、水に色が付いたり、製品に色が付きやす。	・色の濃い果物類のクッション材などがあげられます。
防水加工された紙	・古紙処理工程で難解できず、製紙原料となりません。	・紙コップ、紙皿、紙製のカップ麺・ヨーグルト・アイスクリーム容器などがあげられます。
複合材	・古紙処理工程で難解できず、製紙原料となりません。	・通販用緩衝封筒、絵本型おもちゃなどがあげられます。
紙製品でないもの	不織布	・樹脂繊維できているものも多く、製紙原料にはなりません。中でも使用済みのものは衛生上の問題があります。
	使い捨ておむつ 生理用品 ペット用トイレシート	・紙おむつには吸収性ポリマーなど紙ではない成分が含まれています。中でも使用済みのものは衛生上の問題があります。
	合成紙 ストーンペーパー	・合成樹脂を主原料としており、製紙工場の機械故障を引き起こします。
	石 ガラス 金属 土砂 木片 布類 プラスチック類	・製紙工場の機械故障を引き起こします。

ラベル業界の循環型社会を造るために

<①社会課題>

1. 循環型社会への移行の中で、シール・ラベル製品も資源循環を推進しなければならない。
特に使用済みの剥離紙は顧客から見ると廃棄物であるが、これを製紙原料に再生することが狙いである。
2. コモディティ製品でありながら製品循環の取組が行われていない
3. 社会インフラでもあるシール・ラベル業界の存続。

国内におけるラベル製品は約11万トン/年流通しており、その大半が廃棄物となっています。※73g/m²で計算
剥離紙は100%パーセントパルプでできており、回収・脱シリコンができれば、「再生パルプ」として市場価値が生まれる可能性がある。
※参考：使用済み牛乳カートンは、18.7万トン/年(2019)

<②運営課題>

1. 個社のサービスでは限界がある。
2. 循環の収益性

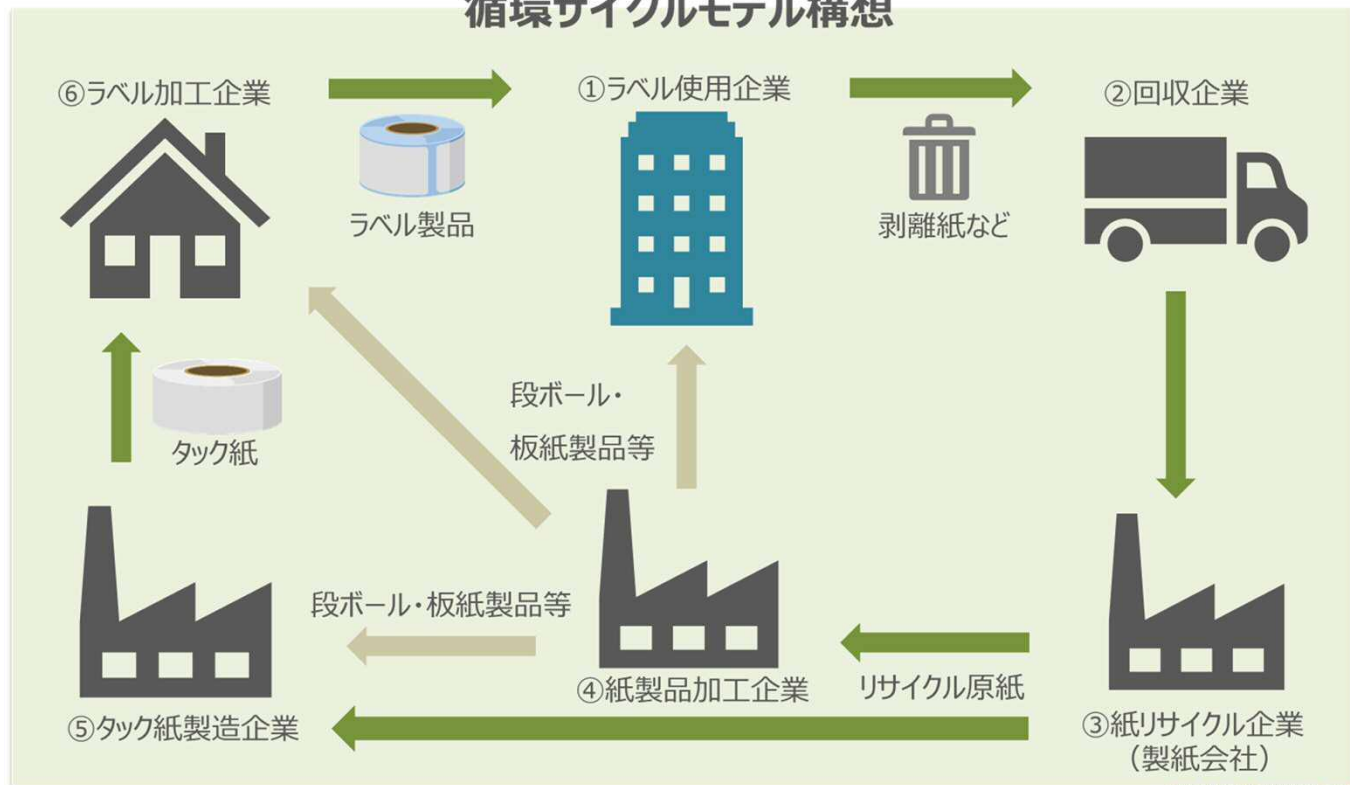
<③参画メンバー>

1. 当取組に賛同いただけるラベル使用顧客
2. 廃棄物回収企業
3. 紙リサイクル企業
4. 製品加工企業
5. タック紙製造企業
6. ラベル製造企業

<④課題解決案>

1. シール・ラベル業界でリサイクルシステムを立ち上げる。
2. エンドユーザーに理解浸透を行う。

循環サイクルモデル構想



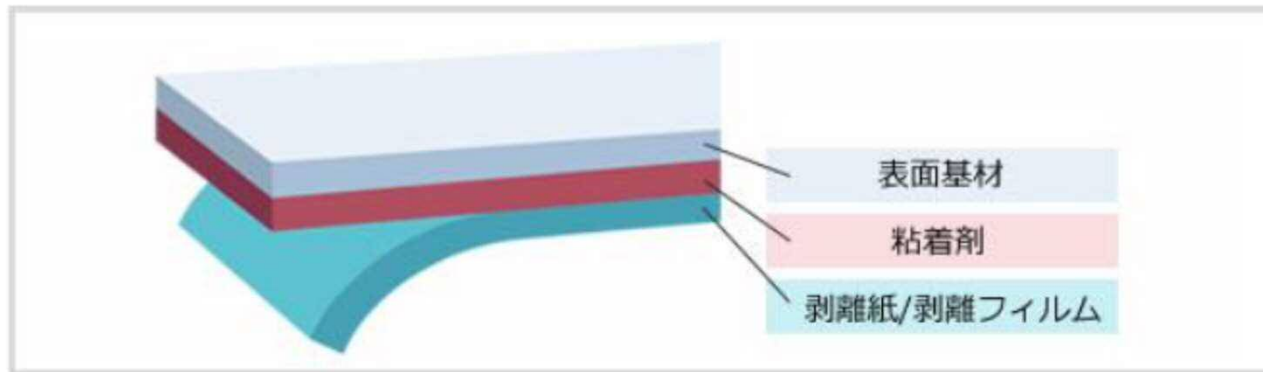
なぜリサイクルされてこなかったか？

概要

表面基材に予め粘着剤が塗布され、剥離紙（セパレーター）から剥がして使用します

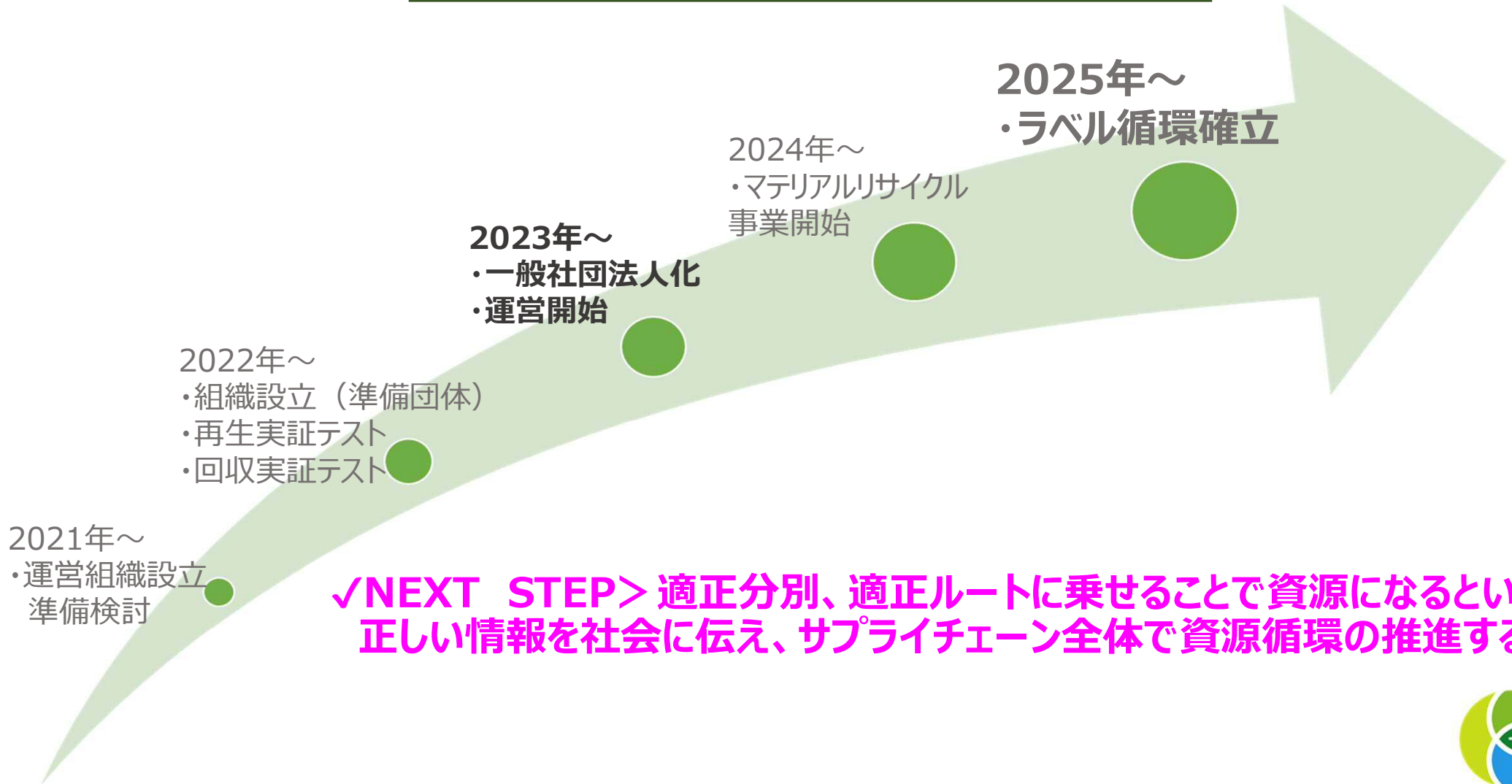
構成

- 表面基材、粘着剤、剥離紙の3層構造
- 表面基材、粘着剤、剥離紙はそれぞれ様々なタイプがあり、用途に応じていろいろな組み合わせパターンがあります



- ✓粘着剤が製紙製造工程で混入すると品質障害になる。
- ✓剥離紙の表面に離型性を上げる為にシリコンが塗布されており、シリコンは分散する為に取り除く事は難しい、古紙として混入すると再生紙の品質障害につながる。

公の活動とするために一般社団法人設立



✓NEXT STEP> 適正分別、適正ルートに乗せることで資源になるという正しい情報を社会に伝え、サプライチェーン全体で資源循環の推進する。



J-ECOL
Japan-Earth Conscious Labeling

設立会社

● 法人名：一般社団法人 ラベル循環協会

剥離紙に限定した取組でなくラベル業界における循環型社会を意識した。

● 略称：J-ECOL（ジェーコル）



(事務所) 東京都台東区（全日本シール印刷協同組合連合会と同じ場所）

(目的) 当法人は、ラベル業界における循環化社会を創造し、もって循環型済社会を活性化することを目的とする。

(事業) 当法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1、ラベル資材のリサイクルにおける調査研究事業
- 2、前号に掲げる事業に関する知識の普及を図るための教育および情報の提供
- 3、その他当法人の目的を達成するために必要な事業

(理事) 本宮晴哉（リンテック）、佐藤寛訓（大阪シーリング印刷）

佐々島伸之（王子タック）、高島哲也（サトーHD）

(監事) 田中祐（山王テクノーツ） ◀全日の会長

事業内容

✓ラベルをいつまでも安心してご使用いただく為にラベルの循環化社会を造る。

➡使用済み剥離紙の再生資源化 普及促進

- ・分別のガイドライン策定、会員による分別周知活動
- ・使用済剥離紙リサイクルの相談
- ・リサイクラーの選定（リサイクラーに理解を得る） ➡リサイクラーと顧客をつなぐ役割
※リサイクラー：剥離紙を再利用する企業

➡リサイクル技術確立の支援

- ・再生しやすい設計
- ・再生を促すための補助

➡リサイクル状況の可視化・情報発信

- ・環境負荷の可視化 ➡リサイクラーとの連携
- ・普及活動における目標設定と進捗確認、情報開示

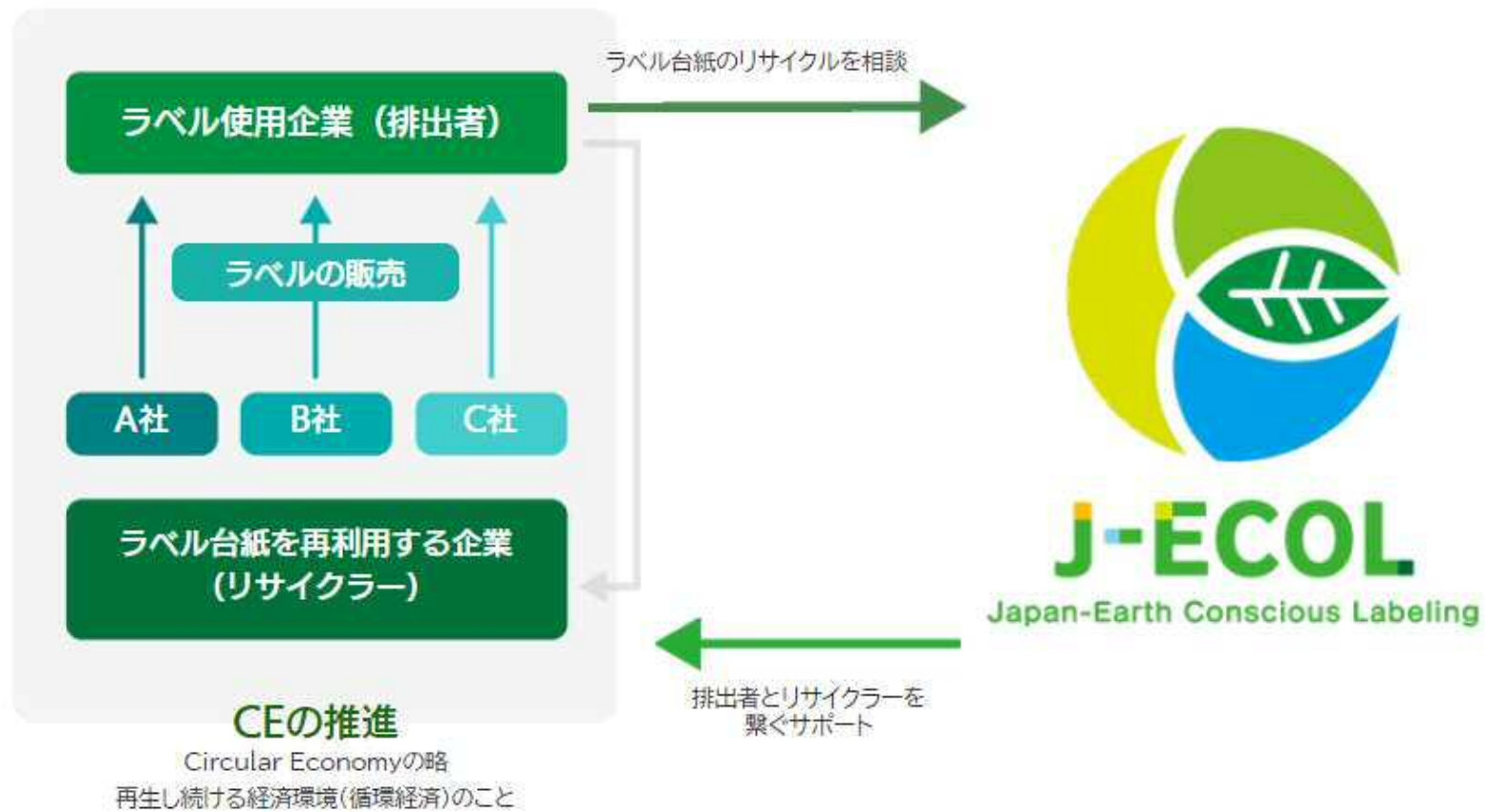


J-ECOL
Japan-Earth Conscious Labeling

J-ECOLの役割

● J-ECOLは個社の取組でなく、ラベル製品に関わる企業（使用者、製造者）の皆様と**循環型経済（CE）を協創**することを
目指しています。

資源循環パートナー



CEの推進

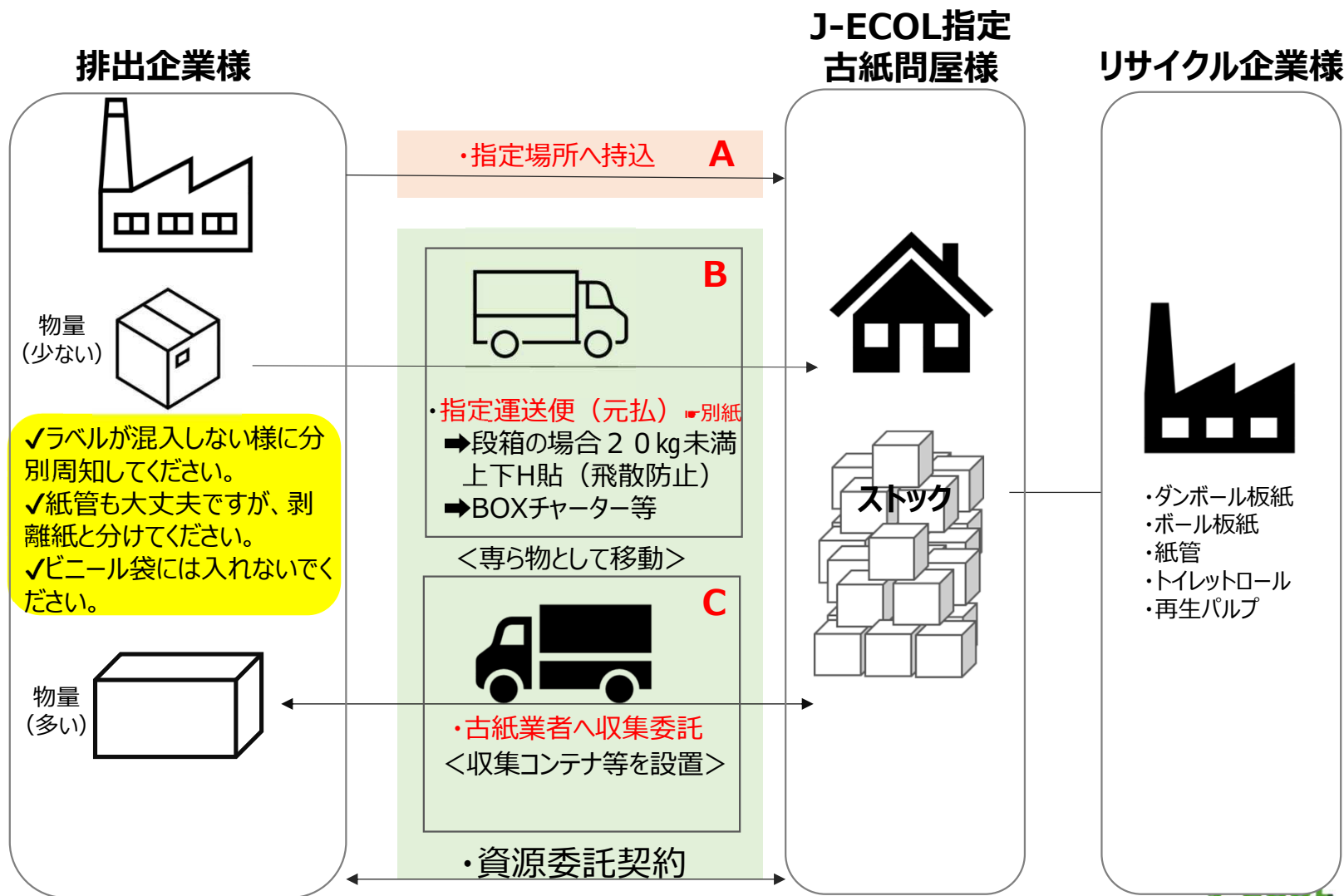
Circular Economyの略
再生し続ける経済環境(循環経済)のこと



✓剥離紙リサイクルの流れ

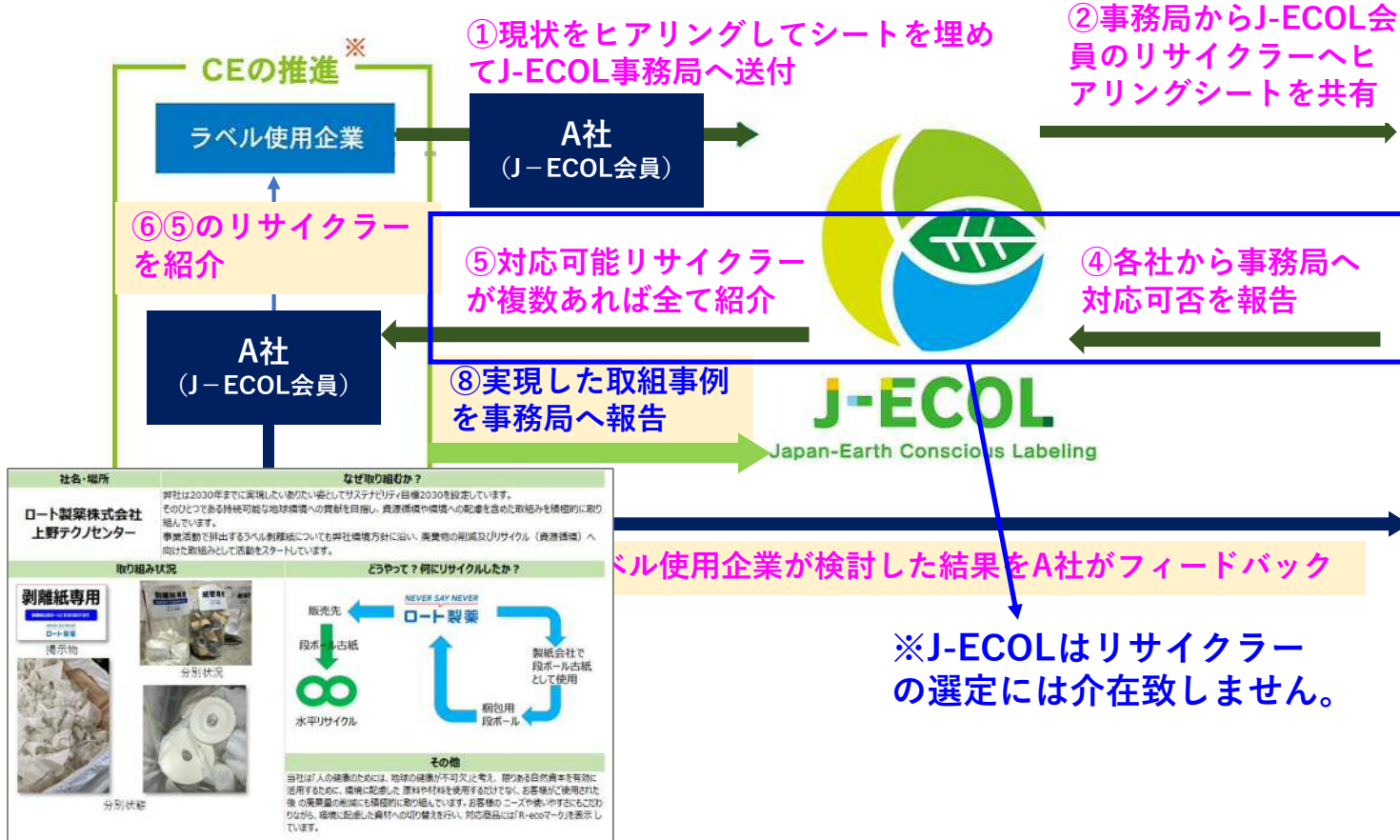
<前提>

- ・剥離紙は『専ら物』
- ・現時点で剥離紙は古紙原料として価値が低く、有価物扱いが難しい。



リサイクルフローについて

印刷コンバータ・タック紙製造企業様の推進活動（下記A社）



J-ECOL事務局 0 2023/12/1

送付先) info@j-ecol.or.jp

剥離紙リサイクル ヒアリングシート

① ラベル使用企業 (発生場所) 社名、部署		必須
住所		
② 現状の取り扱い	一般廃棄物 <input type="checkbox"/> チェック 産業廃棄物 <input type="checkbox"/> チェック その他) 自由記載 <input type="checkbox"/> チェック	
③ 剥離紙の種類	クラシオン (青や白の厚手) <input type="checkbox"/> チェック ポリラミ (黄色や白の厚手) <input type="checkbox"/> チェック	必須 該当にチェック
④ 状態	ロール状 <input type="checkbox"/> チェック シート状(ロール状から切り離された状態も含む) <input type="checkbox"/> チェック	
④ 剥離紙の排出量	※記入方向▶ 531 Kg/月	必須
⑤ 説明事項	剥離紙の分別に協力していただける。 ※ヒアリング者が 極力ラベルが混入しない様に協力いただける。 輸送費、処理費がかかる事を理解していただける。 現地調査のご協力いただける。(コスト算出に必要)	必須 合意がない場合は使 付できません。

リサイクラー会員

古紙問屋1

古紙問屋2

古紙問屋3

リサイクラー1



③各社で一次窓口として立っていただき、対応可否を検討

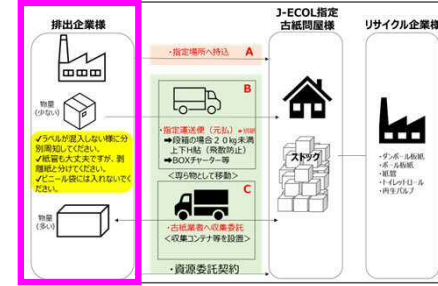
※情報共有をリサイクラー会員に限定する理由

- ラベル使用企業の企業情報漏洩防止
- リサイクルにご賛同いただけている

リサイクル事例紹介

提出日 2023年12月8日
 掲載日 2023年12月18日

社名・場所	なぜ取り組むか？
<p>株式会社村田製作所</p>	<p>弊社では、サステナブルな社会の実現に向けて、2050年における循環資源化率100%の目標を掲げ、製造過程や物流過程で発生する排出物全てを自社や他社の資源として再利用する「循環資源化」に取り組んでいます。</p> <p>これまで「循環資源化」が進んでいなかった物流過程において、産業廃棄物として廃棄していた大量のラベル台紙に着目、「循環資源化」のモデルとして推進を開始することとしました。</p>
取り組み状況(自由記載)	どうやって？何にリサイクルしたか？(自由記載)
<p>作業員に対して、サステナブルな社会の実現のために、ラベル台紙は資源であるという教育を行い、意識改革の醸成を実施。その結果、現場における分別→再資源化の意識も高まりました。</p> <p>今後はさらに、弊社グループ会社からもラベル台紙を回収→集約し、全社挙げてラベル台紙の「循環資源化」拡大に向けて取り組んでいきます。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>破碎処理 次工程で扱い易くするために細かく破碎</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ペール（圧縮梱包） 効率的な移送の為に</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 10px 0;">  <p>建材用途 (サイディングボードの材料)</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">  <p>融解処理（パルプ抽出）</p> </div>
<p>その他</p> <p><事務局より> 再生パルプの品質グレードは回収状態と一緒に混ぜ合わせる古紙に左右されます。品質グレードに応じた活用が行われます。今回は実績が少なく集まるモノの状態が定まらない為、品質のハードルが低い建材用途（サイディングボード）としてリサイクルを実施しています。</p>	

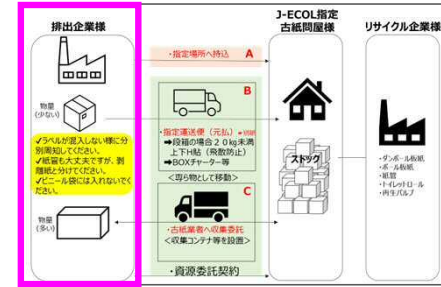


事例① 村田製作所様

リサイクル事例紹介

掲載日 2023年11月9日

社名・場所	なぜ取り組むか？
<p>ロート製薬株式会社 上野テクノセンター</p>	<p>弊社は2030年までに実現したいありたい姿としてサステナビリティ目標2030を設定しています。そのひとつである持続可能な地球環境への貢献を目指し、資源循環や環境への配慮を含めた取組みを積極的に取り組んでいます。</p> <p>事業活動で排出するラベル剥離紙についても弊社環境方針に沿い、廃棄物の削減及びリサイクル（資源循環）へ向けた取組みとして活動をスタートしています。</p>



取り組み状況 どうやって？何にリサイクルしたか？



掲示物



分別状況



分別状態



その他

当社は「人の健康のためには、地球の健康が不可欠」と考え、限りある自然資本を有効に活用するために、環境に配慮した原料や材料を使用するだけでなく、お客様がご使用された後の廃棄量の削減にも積極的に取り組んでいます。お客様のニーズや使いやすさにもこだわりながら、環境に配慮した資材への切り替えを行い、対応商品には「R・ecoマーク」を表示しています。

事例②

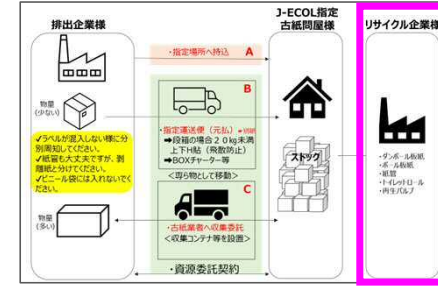
ロート製薬様株式会社様

リサイクラーの状況



商号:	株式会社 日誠産業
本社:	〒774-0021 徳島県阿南市津乃峰町新浜33-10 TEL.0884-27-3323 FAX.0884-27-3324
事業内容:	古紙再生/パルプ製造販売 製紙原料選別加工販売
創業:	1970年3月
代表取締役社長:	平尾昭一郎
主な納入先:	日本製紙株式会社 その他、全国製紙/建材メーカーへ納入
主な仕入先:	日本製紙株式会社 その他、大手商社/全国製紙原料問屋
主な所属団体:	集めて使うリサイクル協会・ゼロ・ウェイストアカデミー・全国牛乳パックの再利用を考える連絡会・全国牛乳容器環境協議会・とくしまSDGs未来会議
認証取得:	FSC®-CoC認証 (ライセンスコード FSC-C116774) ・エコアクション21 (認証登録番号 0008772)

Nisseysangyo Co., Ltd. – Custom-made Pulp Manufacturer



日本製紙グループ NIPPON PAPER GROUP

English | 拠点一覧 | お問い合わせ・資料請求 | サイトマップ | 検索

日本製紙グループについて | 株主・投資家情報 | 製品情報 | サステナビリティ | 研究開発 | 採用情報

トップページ > 日本製紙グループについて > 拠点一覧 > 国内主要工場一覧 > 日本製紙株式会社 > 草加工場

日本製紙グループについて

社長メッセージ

企業グループ理念

行動憲章・行動規範

事業内容

沿革

会社概要

グループ企業一覧

拠点一覧

- 国内主要営業拠点一覧
- 国内主要工場一覧

日本製紙株式会社 草加工場

当工場は、関東平野の中心に位置する、埼玉県草加市にあります。草加市は俳聖とよばれた松尾芭蕉など多くの文化人が往来した日光街道第二の宿駅として、また草加せんべい発祥の地としても知られています。1964年に設立され、日本製紙グループの板紙工場として、段ボール原紙をはじめとする産業用板紙を生産しています。巨大な製品消費地であり、原料となる古紙の大量発生地に立地するという物流面での優位性を活かし、板紙の基幹工場として発展してきました。古紙のリサイクルに取り組み、顧客に信頼される製品を供給していきます。

工場名	日本製紙株式会社 草加工場 (にっぽんせいしかふしきかいしや そうかこうじょう)
所在地	〒340-0013 埼玉県草加市松江4-3-39 地図を表示する
連絡先	TEL: 048-931-9571 FAX: 048-931-8405

草加工場 | 日本製紙株式会社 | 日本製紙グループ (nipponpapergroup.com)



リサイクラーの状況

【第3回情報共有会資料】



2024年9月20日
王子タック株式会社

王子グループでの使用済み剥離紙受入れ検討状況

- 使用済み剥離紙の再利用として、まずは、段ボール中芯原紙の古紙原料として、古紙会社様経由のペール品でテスト検討を行って参りました結果、古紙品質としては受入れ可能と判断致しました。
- 受入れ対象工場は、王子グループ・王子マテリア(株)の次の5工場を予定しています。売買条件が整い次第、早ければ9月末～10月頃から初期流動使用を開始致します。
- 段ボール中芯原紙原料としての受入れ予定5工場 ⇒ 王子マテリア(株)日光工場、岐阜工場(中津川)、祖父江工場、大阪工場、佐賀工場

王子マテリア(株) 拠点・ネットワーク



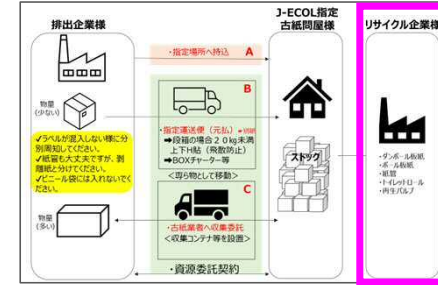
地図上の拠点・名称をクリックしていただくと
詳細ページが表示されます。



生産工場

掛鈔工場	〒084-0917 北海道掛鈔市大湊3-2-6 TEL: 0154-67-3305 FAX: 0154-67-8277
日光工場	〒329-1102 栃木県宇都宮市白河町592 TEL: 029-661-1011 FAX: 029-661-1012
江戸川工場	〒133-8511 東京都江戸川区東葛5-2-2 TEL: 03-3679-1111 FAX: 03-3679-1122
富士工場	〒416-6656 静岡県富士市平塚300 TEL: 0545-60-2200 FAX: 0545-60-2201
松本工場	〒399-0030 長野県松本市大字笹原200-1 TEL: 0263-25-5432 FAX: 0263-25-6595
岐阜工場 中津川工場	〒508-6585 岐阜県中津川市小川町2-9 TEL: 0573-66-1511 FAX: 0573-66-6220
恵那工場	〒509-7201 岐阜県恵那市大井町096 TEL: 0573-26-1611 FAX: 0573-26-1656
祖父江工場	〒495-8001 愛知県稲沢市祖父江町祖父江外平150 TEL: 0567-97-2111 FAX: 0567-97-2118
大阪工場	〒533-0003 大阪府大阪市東淀川区南江口3-15-58 TEL: 06-6329-6871 FAX: 06-6329-6877
呉工場	〒737-0133 広島県呉市広東広2-1-1 TEL: 0823-74-6700 FAX: 0823-71-2234
大分工場	〒870-0195 大分県大分市大字小中島字江ノ道872-1 TEL: 097-521-1112 FAX: 097-521-1631
佐賀工場	〒849-0204 佐賀県佐賀市久保田町大字久保田1 TEL: 0952-48-9111 FAX: 0952-48-4259

現在（11月5日）、受け入れ調整中です。



会員（24年10月21日現在）

正会員一覧 ※五十音順

 エイブリー・デニソン・ジャパン株式会社	 王子タック株式会社	 大阪シーリング印刷株式会社	 株式会社サトー
 株式会社坪野谷紙業	 株式会社トッパンインフォメディア	 TOPPANエッジ株式会社	 株式会社 日誠産業
 日本紙パルプ商事株式会社	 株式会社丸信	 リンテック株式会社	

その他関連団体

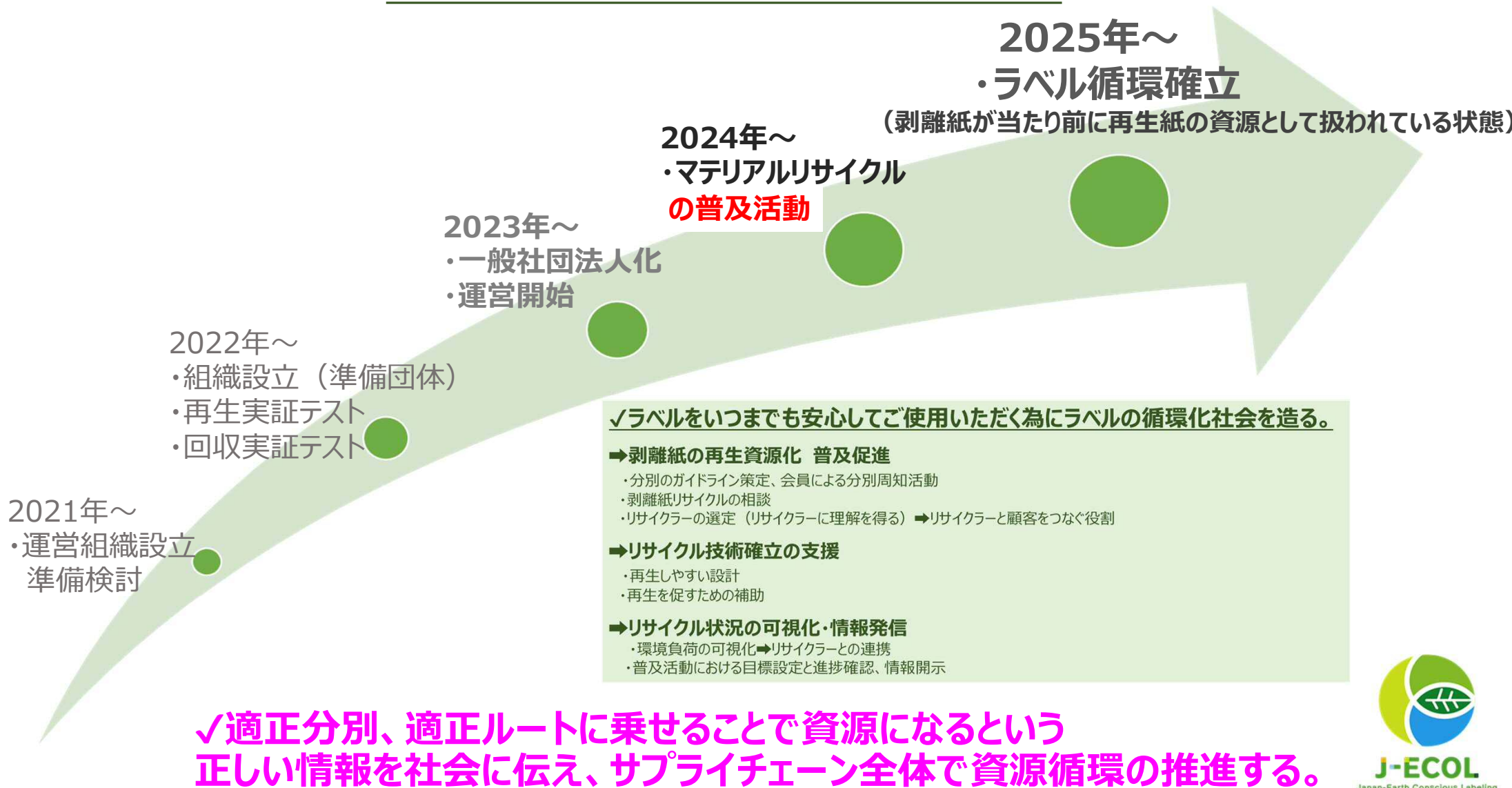
 2025年日本国際博覧会協会	 循環経済パートナーシップ	 全日本シール印刷協同組合連合会	 ヨーロッパ製紙リサイクル団体 CELAB
---	---	--	---

賛助会員一覧 ※五十音順

 株式会社倉本産業	 寿精版印刷株式会社	 株式会社サンエー化研	 ZACROS株式会社
 進和ラベル印刷株式会社	 株式会社タカラ	 ダウ・東レ株式会社	 株式会社DNPデータテクノ
 東レ株式会社	 日本製紙株式会社	 株式会社村田製作所	 株式会社山田洋治商店
 株式会社 ユボ・コーポレーション	 株式会社リコー	 ロート製薬株式会社	



会員に皆様にご協力いただきたいこと



Thank you



- Webサイト : [ラベル循環協会 J-ECOL](https://www.j-ecol.or.jp/)
<https://www.j-ecol.or.jp/>
- E-mail : info@j-ecol.or.jp